

専務局便り

発行：糖道国際理解教育研究協議会
 事務局：恵庭市立恵庭小学校
 TEL:0123-32-3288
 発行者：事務局次長 中村
 発行日：昭和63年6月15日 第 5 号

運動会シーズンも終わり、どの学校も一学期の後半に向けて、新たな活動に入ったことと思います。会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、遅くなりましたが、3月17日（木）の「昭和63年度在外教育施設派遣教員激励会」に合わせて行いました、理事会・総会の報告をさせていただきます。

理事会・総会 の報告

1. 経過報告…この中で各支部の活動状況が次のように報告されました。

- 網走 2月27日 「網走管内国際理解教育研究会」（宿泊研）24名
 ※一般の教員、北見工業大学の先生方も多く会員になっている
- 渡島 12月28日 函館で「帰国報告会」を兼ねた合宿研修会
- 空知 9月12日 支部結成会（11名）
- 上川 3月5日 派遣教員激励会（20名）
- 日高 11月13～14日 海外事情研究会との共催で「国際理解教育研究大会」 静内町（50名）
- 十勝 帯広市で海外事情研究会と合同で実施。授業、研究発表 60～70名
- 胆振 2月20日 苫小牧市で。ニュージーランドの女性を講師に研修会

2. 会計報告

昭和62年度の会計決算報告及び、昭和63年度の予算案が、別紙のように承認されました。

なお、会費の納入について会計より「加入者負担払込用紙」（各支部ごとに適当な枚数同封）を利用されると無料ですむとのことでした。もし「加入者負担払込」用紙が手元にない場合でも、郵便局に備え付けの通常の「払込通知票」を利用すれば、50～100円位の料金（金額にもよるが）で払い込めるとのことでした。

通常の払込用紙の記入の仕方

口座 番号	小 樽	＊ 1	+	万 3	千 6	百 2	十 3	番 6	全 ■	以下 省略
加入 者名	大津 外志男								印 ■	

3. 事業計画

3. 事業計画

(1) 「北海道国際理解教育資料コーナー」について

1. 目的：国際理解教育の研究及び普及と資料の保存
2. 場所：北海道道立教育研究所（069-01 江別市文京台東町42 資料室 宛）
3. 方法：当面は、直接「資料室」宛に送付する。資料室では送付された資料を内容や傾向等を分析しつつ領域別に分類整理して、棚に設置する。
4. 期間：収集期間を次のようにする。
第一次収集期間 6～8月上旬
第二次収集期間 9～12月下旬
5. 内容：研究紀要、研究収録、海外の学校要覧、研究大会記録、授業記録指導案、現地の案内要覧、研究発表物等で寄贈してよいもの。
6. 担当：事業部主幹の「資料収集特別委員会」を設置
委員構成は、札幌市、石狩支部、空知支部から各1名
7. 予算：事業費に計上

(2) 「第9回北海道国際理解教育研究大会・渡島大会」について

1. 開催地：森町（宿泊は、大沼周辺で）
2. 時期：11月4（金）、5日（土）
3. 内容：小・中学校及び高校（養護学校）の授業公開、研究協議、講演

(3) 「国際理解教育の手引き」（仮称）について

1. 目的：小・中学校における国際理解教育の推進のために、具体的な実践資料を盛り込んだ冊子を作成して、その普及に寄与する。
2. 発行：64年3月末の予定
3. 担当：事務局主幹の「手引き作成委員会」の設置
委員構成：3～5名（実践の盛な地区から）
4. 予算：道教委の小中学校課の援助の方向で

(4) 会員名簿の作成

1. 編成・・・第1部：派遣者名簿（年次毎の派遣者全員）
勤務先、勤務先住所、勤務先電話番号、地区名、派遣国
派遣先学校
第2部：支部会員名簿（本会会員のみ）
自宅住所、自宅電話番号、学校名、派遣先学校
2. 担当・・・事務局
3. 発行・・・当初5月末と予定したが、4月の人事異動の結果の報告がどの地区からもなかったため、間に合わなかった。

変更になった会員について、同封の名簿を訂正して至急送ってほしい。

4. 役員を選出について

第5章 役員および理事

第8章 役員を選出方法

総 会：会長、副会長、事務局長、監事
会長の委嘱：事務局次長、会計、各部の正副部長
：各地区毎の理事（全道5ブロックから各1名）

道北：宗谷、留萌、上川
道東：根室、釧路、十勝、網走
道央：空知、石狩、後志
道南：渡島、胆振、日高、檜山
札幌：

※ 道北については、宗谷、留萌の会員数が合わせて5名と少ないことから、会員数の多い上川(25名)に当分の間理事を出してもらうこととする。

その他の地区は、支部の組織状況にもよるが、一応毎年交替制を原則にしていく。とりあえず、今年は _____ の地区からスタートしてはということ、人選を依頼する。

※ その他の確認事項

1. 副会長は、道央に札幌を加えて、4ブロックから1名ずつ
但し、全道大会ブロックからは必ず1名選出すること。また次の全道大会地が決まっている場合は、そのことも考慮する。今年、次の地区から選出する。
道南（渡島）、道東（網走）、道北（上川）、道央（札幌）
2. 理事は各ブロックにおろし、上がってきた人を委嘱する
3. 監事は、胆振、後志から1名ずつ
4. 正副部長は、ブロック以外でも近隣地区から選出した方が事務処理上便利で都合がよい。副部長は、部長が委嘱する。
「研修部長だけは、全道大会ブロックから選出する。」と固定する。

昭和63年度役員一覧

会 長	千葉 福男（石狩）
副 会 長	道北（上川：菅原 伝寿） 道東（網走：鎌田 誠二） 道南（渡島：村岸 勝郎） 道央（札幌：中山 福雄）
事務局長	磯貝 登（空知）
同 次長	中村 保（石狩）
会 計	大津 外志男（空知）

※ 各部の正副部長、監事、理事についてはまだ各地区からの選出、並びに会長からの委嘱が全部済んでいないので、決定次第追ってお知らせします。

事務局からの連絡

1. 会費納入のお願い

- ・62年度以降は、年額3000円です。入会金は、7000円です。
- ・61年度以前は、年額5000円です。未納の方宜しく申し上げます。
- ・各支部ごとにある程度まとめて納入していただけることを期待しています。
(ボーナスの支給に合わせて早めに納入下さい。)

2. 資料の送付

事業計画の(1)にあります「資料コーナー」の設置に向けて、どんどん送付下さい。なお、恐れ入りますが送料は、各自負担でお願いします。

3. 役員の選出及び報告

次の各地区からの選出を待っています。至急報告してください。

理事(上川、十勝、空知、桧山)

監事(胆振、後志)

4. 「国際理解教育」に関する実践資料の送付

事業計画の(3)の「手引き」に使わせていただきます。これまで実践されたものを送付下さい。今後実践された場合も一部送付して下さい。

5. 各支部の事務局担当者の報告を

事務処理の迅速化をはかるため、本部事務局からの文書の送付を一括各支部事務局宛にしたいと思います。今までは、これまでの経緯から本部事務局の判断で送付させていただいていました。

事務局担当者の氏名、勤務先(学校名、住所、郵便番号、電話番号)、自宅(住所、郵便番号、電話番号)を至急お知らせください。

なお、支部が未結成のところは、どなたか窓口になって欲しいと思います。

6. 今年の帰国報告会について

63年度帰国者の報告会が、道教委主催で6月14日(火)に行われます。今年の帰国者は、16名です。